

緑化だより

No.229

令和 8 年 8 月号



イクビゴケの胞子のう(蒴)

- 季節の花(つみ(ヤマボウシ))
- 水生昆虫の話
(ハグロトンボ)
- 小さな世界こけ
(キノゴケ)

- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

広島県緑化センター

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>



広島県
緑化センター
二次元コード

季節の花

つみ(ヤマボウシ)

「この夕(ゆふへ) 柘(つみ)の小枝(さえた)の 流れ(こ)ば

梁(やな)は 打たずて 取らずかもあらむ」

若宮年魚麻呂(わかみやのあゆまろ) 萬葉集 卷3-386

(この夕べに 仙女が化身したという柘(つみ)の枝が流れてきたならば 梁(魚を捕る仕掛)を打つような手荒な捕らえ方をしないで、その枝をとれないだろうか)

この歌は柘枝(つみのえ)の伝説を題材に詠まれたものです。

昔、吉野の里の美稲(ウマシネ)という若者が吉野川に梁(やな)を仕掛けてアユを捕っていました。

ある日、上流から流れて来た柘(つみ)の枝が梁(やな)にかかったのので、家に持ち帰ったところ、その枝が美しい女性になったので美稲(ウマシネ)は驚きましたが、その女性を妻に迎え毎日幸せに暮らしたという話です。

ヤマボウシはミズキ科ミズキ属の落葉中高木で 本州、四国、九州の山地に自生している日本の固有種で、朝鮮半島にも自生します。

和名の「山法師」の由来は、球形の花を僧侶の頭に、花びらに見える総苞片を白色の頭巾に見立ててつけられました。

花は6月～7月に咲き、白く花びらに見えるのは総苞片で中心に淡緑色の小さな花が20～30個密集してつきます。

果実 は1～2cmの球形で8月～9月頃、赤く熟します。完熟すると甘く、粘質があり生で食べることができ、ジャムや果実酒などにも利用されます。

近年は、中国原産の葉が厚く光沢のある常緑ヤマボウシ(ホンコンエンシス)が街路樹や公園に植栽されています。(上村)



ヤマボウシの花



ヤマボウシの実

水生昆虫の話

ハグロトンボ

夏のせせらぎや木陰で、ひらひらと優雅に舞う黒い影を見かけたことはありませんか？その正体は、夏を代表する清流の住人チョウのようにひらひらと優雅に舞う黒い翅(はね)のハグロトンボ。その美しい姿の裏には、水の中ではぐくまれる、たくましくも興味深い幼虫時代(ヤゴ)の物語があります。

一般的にヤゴといえば「泥まみれでゴツゴツした姿」をイメージするかもしれませんが、ハグロトンボのヤゴは驚くほどスタイリッシュです。

細長い枯れ枝や竹串のようなシュッとしたスマートな体型で、脚もすらりと長く、水底の植物の根や水草にしがみつく姿は、どこか水中を歩く竹馬のようで愛嬌たっぷりです。



ハグロトンボのヤゴ

最大のチャームポイントは、お尻の先にある3枚の長くて平らな「尾鰭(びさい)」というエラです。ハグロトンボが属する「カワトンボ科」のヤゴは、このエラが非常に長く発達しています。このエラをうちわのように使って水中で呼吸します。彼らはとてもきれい好きで、水生植物が豊かに茂る、ゆるやかな美しい流れを好んで生息します。水草や水中の根っこに、長い脚でしっかりとしがみついて、水草にそっくりな茶褐色や緑色の体色で上手にカモフラージュしながら、目の前を通る小さな水生昆虫を瞬時に捕らえて食べる、優秀なハンターの一面も持っています。

そんな水中生活を経て、初夏になるといよいよ羽化を迎えます。夜から早朝にかけて水草を登り、殻を破ってあの美しい成虫へと生まれ変わります。成虫になると、オスは光の加減でメタリックな金緑色にピカピカと輝き、メスは気品ある黒褐色を見せてくれます。

成虫の一番の「可愛いところ」は、葉っぱの上などでひと休みしているときの仕草です。4枚の翅をゆっくりと開いたり閉じたりする独特の動きを見せてくれます。その姿が手を合わせて祈っているように見えることから、古くから「神様トンボ」と呼ばれ、お盆の時期に姿を見せる縁起の良い虫として大切にされてきました。

豊かな緑と清らかなせせらぎは、ヤゴにとっても成虫にとっても絶好の楽園です。水辺できらめく小さな神様たちのたくましい幼虫時代や、愛らしくも美しい親トンボの舞に想いを馳せてみませんか。(西村)



ハグロトンボの成虫(オス)



ハグロトンボの成虫(メス)

小さな世界 こけ

キヌゴケ

薬草園のエンジュの幹には数種類のコケが見られます。その中の一つにキヌゴケがあります。

キヌゴケは、セン類のハイゴケ科。雌雄同株異苞で、一つの株の別々の場所に造精器と造卵器をつけます。

茎は樹幹を這い、茎の長さは1~2 cmで、不規則に長さ2~3 mmの枝を羽状にたくさんつけます。

葉は乾燥すると茎にくっつき上に向き、葉先は弱く曲がり、葉先の透明尖は白っぽく見えます。湿ると葉は広がり、柔らかな感じのマットになります。葉の大きさは0.5~1 mmで、基部が広い卵状披針形、葉先は鋭く伸びています。葉の真ん中の中肋は短く二つに分かれています。蒴柄は5~8 mmの長さで、卵形の蒴はまっすぐ立ち上がります。(山根)



乾燥した時のキヌゴケ



湿潤な時のキヌゴケ

研修会のご案内

- | | |
|--|---|
| ○ 8月 2日(日) 『水生昆虫を探そう』
溪流の水生昆虫を採集して観察します。
5歳以上小学生以下 対象(小学3年生以下の
児童が複数参加の場合、保護者は2名以上つくこと
※要予約(7/2～7/19の期間
HPより事前申込み、抽選で20名) 無料、雨天中止 | 10:00～12:00 第2駐車場 集合
講師:環境カウンセラー
西村 浩美 |
| ○ 8月 2日(日) 『夏休み自由工作塾』
※自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 8月 16日(日) 『夏休み自由工作塾』
※自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 8月 23日(日) 『夏休み自由工作塾』
※自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 8月 30日(日) 『はじめての苔テラリウム』
コケテラリウムに挑戦!
※要予約(先着20作品)、材料費1,000円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:森林インストラクター
長井 稔 |
| ○ 9月 2日(水) 『秋の七草と植物観察』
秋の七草について学び、植物を観察します
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:緑花文化士
横山 直江 |
| ○ 9月 4日(金) 『薬草講座』
～秀吉、團十郎が愛した薬
ういろ(外郎)と香料～
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:広島国際大学生涯学習自然園
前園長・薬学博士
神田 博史 |

♪☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

8月の土・日・祝日は午後5時まで開園

第10回ひろしま遊学の森

四季の移ろい写真コンテスト

写真募集中 締切り;11月30日(日)

詳細はHP,チラシでご確認ください。

◎ 展示会

場所: レストハウス (ボード展示)

広島県愛鳥週間ポスター

入賞作品展

～8月19日(水)

